

信夫恕軒 しゆけん 漢學者。天保六年五月五日江台生れ、明治四十二年十一月十一日歿（八三—一九〇）。講纂、字文則。別號天倪子、天倪居士、天倪迂叟、恕軒主人、恕軒學人、恕軒迂人。海保漁村、大槻磐溪等の學ぶ。東京大學講師、文部省御用掛等之務めた。法學者信天淳平の父。

著書 『恕軒文鈔』全二冊（明治十年十一月—二十日奇文欣賞書樓藏）、

『恕軒漫筆』（明治二十五年五月二十四日吉川半七刊）、 『赤穂義士

談』（東京市教育會筆記、明治二十七年六月十六日東京市教育會）、

徳富海花原著 『漢譯不如歸』（山田寅村共評註、明治四十四年四月十五

日千代田書房・阪杉本深江堂）、 『正文章軌範通解』（石崎重園共著、

大正二年二月一日富田文陽堂）等。